

和2年度共用機器利用法プレゼン競技会開催要領

1 目的

本競技会は、研究機器の管理者や利用経験者または利用を考えている教職員、学生（博士又は修士課程）が、様々な研究機器の利用法について情報発信することで、新たな利用者の発掘や学内外の利用拡大に繋げることを目的とする。

このため、発表は、機器を利用することで得られた研究成果のアピールに留まらず、新たな利用方法の提案など計画段階・アイデア段階でも可とし、研究に際し、是非機器・設備を利用してみたい！と聴衆の興味を引く内容を期待する。なお、ここでの利用機器は学内・学外を問わない。

この競技会を実施するにあたり、発表者（プレゼンター）及び競技会を聴講する者（聴講参加者）を公募する。

2 主催 大学研究推進機構 機器運用統括センター

3 日時 令和2年9月23日（水） 13：30～（約1時間30分）

4 場所 山口大学 吉田キャンパス FAVO2F ワークショップルーム

5 応募資格、募集期間及び応募方法

(1) プレゼンター

資格	山口大学の教員、技術職員、学生（博士課程又は修士課程）
募集期間	令和2年7月8日（水）～ 8月3日（月）
応募方法	メールにて、次の事項を記入の上、問合せ先まで申込み 件名：「プレゼン競技会プレゼンター申込み」 本文：①所属（学科等）、②氏名、③電話番号、④メールアドレス 添付：プレゼン概要書（別紙）
備考	応募多数の場合には、書類審査により発表件数を調整することがある

(2) 聴講参加者

資格	制限なし（他大学・公的機関・企業等も参加可）
募集期間	令和2年7月8日（水）～ 9月16日（水）
応募方法	メールにて、次の事項を記入の上、問合せ先まで申込み 件名：「プレゼン競技会聴講参加者申込み」 本文：①所属（学科等）、②氏名、③電話番号、④メールアドレス、⑤オンライン参加希望の有無

6 参加費 無料

7 競技会のルール

プレゼンターが発表を行い、聴講参加者が点数をつけ、その点数で順位を競う。

(1) 発表方法

プレゼンターは会場において、聴講参加者の前で、1人あたり5～10分程度、共用機器の利用法について、パワーポイントによる発表を行う。併せて、発表の様子はオンライン（Webex 又は zoom 等）により配信する。

プレゼンターは、発表用のフォーマットを参考に「利用を思いついた経緯や機器との出会い、利用した感想、困ったときの管理者のトラブル対処、利用者にとって有益な情報などを研究成果（計画段階・アイデア段階も可）も踏まえて、未利用者にも分かるように発表する。

(2) 審査方法

聴講参加者は「自分も共用機器を使用して何か実験を行いたいと思えるか」、「自分は発表された共用機器を利用したことはないが、教職員や学生、その研究分野にとって、とても重要と感じることができた」という視点で、運営側が用意した選択式の設問に答え、その回答から得られる聴講参加者の点数の平均点で競うものとする。なお、教員、職員、学生で点数に差（ハンデ）をつけるものとする。

(3) 表彰

優秀な者には、表彰状を授与する。

(4) 参加賞

当日発表したプレゼンターには、1万円を上限とし、共用機器の利用に係る利用料・消耗品等の一部を補助する（今年度の予算として執行できるものに限る）。なお、利用料については、当センターが利用施設の予算担当部局へ振替、消耗品については、現物支給で対応する。学生の場合、所属する研究室の指導教員と相談の上で補助する。

(5) その他

- ・学部内、学科内のみで共用している研究機器は対象外とする。但し、全学の共用機器とする予定が1年以内に見込まれている場合には対象とする。
- ・発表時に、作品などの現物の提示も可とする。
- ・発表内容は、本人同意のもと共用機器の利用事例として、当センターにて情報発信等することがある。

8 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

- ・会場開催に加え、オンライン（zoom 又は Webex）を併用し、今後の状況や希望者には、オンラインでの参加も可能とする。
- ・会場のスタッフが、会場の入り口で入場者の氏名の確認・健康状態（熱・咳等の自覚症状が無いこと）の確認・マスクの着用の確認を行う。
- ・当日は全員、主催者が設置した消毒液により、手の消毒を行った後、入場する。
- ・状況に応じた席の配置（ソーシャルディスタンス）を行う。

9 問い合わせ先

国立大学法人山口大学 大学研究推進機構

機器運用統括センター 担当：森川・前田

setsubi-@yamaguchi-u. ac. jp (TEL0836-85-9915)